

常長 震災後、演武の最後に必ず「皆とともに、前へ 仙台・宮城」という言葉を入れるようになりました。演武自体にも、メンバー全員の復興への思いが込められています。これからの、被災された方の心に寄り添う気持ちを忘れることなく、活動していきたいです。

政宗公 10年はわしらにとってはまだまだ道の途中。仙台七夕まつりのような何十年、何百年と続く行事のように、伊達武将隊の存在が仙台の皆にとって当たり前とな



▲東日本大震災の鎮魂と復興を願い、東北6県の夏祭りを一堂に集めた東北六魂祭

政宗公 ステージに立ったとき、観客の皆の仙台・東北への温かい思いを感じ、「観光」の大切さを改めて実感した。わしらとしても、この思いに伝えられるよう、一層頑張らねばならんと決意したし、観光面から復興を後押しする「観光復興」という、伊達武将隊の活動の一つの方向性が定まった瞬間だったと思う。

常長 震災後、演武の最後に必ず「皆とともに、前へ 仙台・宮城」という言葉を入れるようになりました。演武自体にも、メンバー全員の復興への思いが込められています。これからの、被災された方の心に寄り添う気持ちを忘れることなく、活動していきたいです。

政宗公 10年はわしらにとってはまだまだ道の途中。仙台七夕まつりのような何十年、何百年と続く行事のように、伊達武将隊の存在が仙台の皆にとって当たり前とな

常長 震災後、演武の最後に必ず「皆とともに、前へ 仙台・宮城」という言葉を入れるようになりました。演武自体にも、メンバー全員の復興への思いが込められています。これからの、被災された方の心に寄り添う気持ちを忘れることなく、活動していきたいです。

政宗公 10年はわしらにとってはまだまだ道の途中。仙台七夕まつりのような何十年、何百年と続く行事のように、伊達武将隊の存在が仙台の皆にとって当たり前とな



常長 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月頃からほぼ毎週YouTubeで

常長 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月頃からほぼ毎週YouTubeで

常長 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月頃からほぼ毎週YouTubeで

常長 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月頃からほぼ毎週YouTubeで

常長 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月頃からほぼ毎週YouTubeで

常長 新型コロナウイルス感染症の影響で、2月頃からほぼ毎週YouTubeで

この特集に関するお問い合わせは観光課☎214・3018、FAX214・8316



撮影 茂ヶ崎庵(太白区)

# 10<sup>th</sup> Anniversary

## 仙台、日本、世界に伊達な文化を伝える—奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊

仙台・宮城の観光を盛り上げるため、平成22年8月1日に活動を開始した「伊達武将隊」が10周年を迎えました。結成当初から活動されている伊達政宗公と支倉常長様に、活動の歩みや仙台への思いを伺います。

**復興とともに歩んできた10年**

—伊達武将隊として、どのような活動をされてきたのですか。

政宗公 仙台城跡での観光案内や演武披露が基本じゃ。そのほか、青葉まつりなど市内イベントに出演するだけでなく、全国各地に出向き、仙台・宮城の魅力を伝えておる。

常長 約400年前に私が訪れたメキシコなど、ゆかりある地を訪問したり、アメリカ、台湾、タイなどでのイベントに出演したりするなど、海外遠征も行っています。バスツアーなど、私たち自身で企画することもあります。

政宗公 この10年、活動の形が変わったところもあるが「400年前のわしならどう考えるか」を常に念頭において活動してきたな。

常長 伊達の魂を伝えるという基本は変えず、その上で活動の自由

での動画配信を始めました。演武の生配信や、伊達武将隊が県内各地を旅する「仙台・宮城にございん旅」など、さまざまなテーマの動画を配信中です。

政宗公 撮影・編集もわしら自身で行っている。まこと大変じゃ。常長 動画は外国でも多く見ていただいております。新型コロナウイルスの影響は大きいですが、動画配信という新たなツールに気付くこともできました。今後感染対策を行いながら、仙台・宮城のさらなる魅力発信のため活動していきたいです。

—最後に、市民の皆さんにメッセージをお願いします。

政宗公 この10年間、伊達武将隊は、楽しいときも、苦しいときも、市民の皆とともに歩んできた。わしらが活動できるのは、ひとえに皆の支えがあったこと。これからも、「ともに、前へ」を旗印に、もっと楽しいまち・仙台を目指し、皆とともに歩んでまいります。この夏も、仙台城跡で待つておるぞ。

度を上げていきたいという思いを大切にしております。

政宗公 何事にも挑戦するのが伊達の心得。最初の頃と比べると、今はまこと活動の幅が広がった。

常長 メンバーそれぞれ、得意分野を生かした活動も多くなりまして。私自身も、古地図や日本酒好きを生かしたイベントを企画しております。

—この10年間で印象に残っていることは何ですか。

常長 まず思い浮かぶのは平成23年の東日本大震災です。復興に向けて歩む仙台・宮城の姿を報告するべく、その年の5月から、39日間で全国27都市を巡り、復興支援のお礼と観光PRを行いました。

政宗公 どの場所もわしらを温かく迎え入れてくれたことがうれしかったな。そんな中、7月に仙台で開催された「東北六魂祭」で開幕宣言を務めたことも思い出深い。

常長 市内外から、本当にたくさんの方々にお越しいただきました。

**「せんだい生活スタイル」紹介動画にも出演中です**

新しい生活様式を定着させるため、政宗公の名前を合言葉に作成した「せんだい生活スタイル」。伊達武将隊の皆さんと市長が出演し、実践を呼び掛ける動画を配信しています。

日常生活に「新しい生活様式」を  
せんだい生活スタイル

- 大事な人を守るために
- 手洗い30秒
- マスクをしよう
- 3密避けて
- 向かい合わない
- ネットも活用

① 仙台市



▲撮影時のオフショット。マスクの着用など、「せんだい生活スタイル」を実践しながらの撮影となりました